

競技について

- ① 競技は全て団体競技とし個人種目は行わない。
- ② 競技規則はの日本マスターズ協会競技規則を基に独自規則を設け行う。
- ③ 競技は全てタイムレースとし、決勝は行わない。
- ④ 水着の着用制限については、日本マスターズ協会の規則に沿った水着とします。
非公認の楽しい大会ですが僅かなタイムで順位が決まりますので水着の制限を設けます。
 - 素材については、繊維を中心とした水着とする。ラバー及び大きなパネルが貼ってある水着は禁止とする。
 - 水着は1着しか着用することができない。（重ね着は禁止）ただし、インナーショーツなどの不適切な露出を避けることを目的とした水着やインナーパット（カップ）などの使用は認める。
- ⑤ 各チームより大会補助役員（計時委員・誘導委員）を1名以上(3名迄)出して下さい。
補助役員が競技他の理由で役割を果たせない時はチーム内で代替役員をお願いします。
大会補助役員の協力を頂けない場合、参加を見合わせて頂きます。
- ⑥ 本大会競技期間中の事故については自己責任において処理し主催者側の責任は問わない。
- ⑦ ホームページに氏名や競技結果および大会時の映像を掲載することがあります。

全日本共泳協会独自規則

スタート

すべての種目において水中スタート（水中からのスタート）を認める。

引継ぎ

原則として台上から引き継ぐものとするが、台下及び水中での引継ぎを認める。

ただし、電子計時装置(タッチ板)が設置された側からの水中からの引継ぎは認めない。

100m競技の第3泳者と200m競技は水中での引継ぎは認めない。

背泳ぎリレーのスタートと引継ぎ

第1泳者のスタート台上からのスタートは認めない。

第2泳者以降の引継ぎについては、台上、台下、水中の引継ぎを認める。

スタート台上からの引継ぎは、飛び込んだ後、推進動作を行うことなく速やかに上向きの姿勢をとること。

上向きの姿勢をとるまでに、プルやドルフィンキックをすれば失格になります。

スタート時の笛の合図について

【自由形・平泳ぎ・バタフライ】

- ① 審判長の短い笛の合図で準備をし、スタート台後方で次の合図を待つ。
- ② 次に審判長の長い笛の合図でスタート台にあがり足の指をかけて静止する。

【背泳ぎ】

- ① 審判長の短い笛の合図で準備をし、スタート台後方で次の合図を待つ。
- ② 次に審判長の長い笛の合図で速やかにプールに入る。
- ③ 2回目の長い笛の合図によってむやみに遅らせることなくスタートの位置につく。

ゲーム種目のルール

●ビート板キックリレー

- ・年齢区分はありません。
- ・キックの泳法はメドレーリレーの順番とし、4人でビート板で繋ぐ。
- ・引き継ぎは、ビート板をバトン代わりとする。
この時、引き継ぎの選手は片手をプールの壁につけておく。
- ・**1チーム1組**のエントリーとします。

●2分間リレー（4×25m）

- ・競技はリレー形式とし、4人で1人25mずつ泳ぐ。
- ・スタート(第1泳者)、第2、第4泳者は水中での引き継ぎも認めます。
その場合は片手はプールの壁につけておく。
注) 但し、第3泳者は必ずスタート台(上)からのスタートとなります。
- ・泳法は自由です。又、後退、立ち止まり、歩きは認められません。
2分に最も近いチームが1位となり、2分を超えると失格になります。
- ・**1チーム3組**までのエントリーとします。
注) その場合チーム名の後ろに識別記号(A・B)等を入れて下さい。

●親子リレー（親子三世代）100m

- ・距離は2人で100m(親子・祖父母と孫)
- ・距離の区分は(25m+75m、75m+25m、25m+50m+25m、50m+50m)
- ・泳法は自由（後退は不可）
- ・複数参加のチームはチーム名の後に識別番号（A・B）等を入れてください。

※競技種目ゲーム種目を合わせて1人3種目までとします。

（競技種目 3 ・ゲーム種目 3でも可）